

まちづくりチャレンジ事業

事業化に向けて支援

質

現在「まちづくりチャレンジ事業」への取り組みが始まっている。各団体からの応募状況、内容、件数などは。

答 市長

平成22年度事業は、緒方町2件、犬飼町1件の申請があり、計画が承認されました。内容は、滞在型や都市からの参加型の交流事業です。

質

市は今後、この事業にどのようにかかわっていくのか。

答 市長

市民団体の申請全般について、各町の支所にいる担当者よりアドバイスができる体制を整え、現在、事業化に向けて支援しています。



よし 豊 吉
とよ 山
やま 高
たか 山



ながたに
市外の人たちとの交流（犬飼町長谷地区）

人材を活かした地域づくり

～活性化や人づくりにつながる～

質

豊後大野市青年団設立委員会が、平成22年11月末に設立総会を開催し、本格的に活動を開始することである。市としても応援すべきではないか。

答 教育長

このような団体を応援し、育成していくことは、地域の活性化や人づくりにつながっていくものと考えています。

今後は、活動を見守りながら、バックアップできることについては、積極的に支援してまいりたいと考えています。



ネパールの方との交流（豊後大野市青年団）

しゅう き

臭気問題 その後を問う

～根本的解決はまだ～



あさ の ます み
浅 野 益 美

質

臭気問題の住民合意は得られたか。

答 市長

9月8日の第5回三重県地域環境対策協議会では、ある一定の臭気対策の効果が出現するとの意見も出されました。

ところが、その後9月中旬頃から、再び臭気を頻繁に感じるようになり、苦情も発生しています。現地調査の結果では、母豚の入れ替えのため、生菌剤を食べていない豚が導入されたことが大きな原因ではないかと考えられます。

質

道路が狭く、緊急車両が近づけない箇所がある。対策をどうするのか。

答 建設部長

地権者の承諾と要望書を提出していただければ現地調査を行った上で、緊急性や必要性を検討し、予算も考慮しながら計画的に整備を行い、市民の皆様が安全で安心して道路を活用することができ、地域の活性化や生活向上につながるよう道路整備を推進してまいります。

質

産業振興の観点から、施策としての取り組みはいかに。

答 市長

市といたしましては、産業および畜産業の振興について、地域住民のご理解とご協力、財政負担に配慮し、ソフト・ハードの両面から支援を検討してまいります。

どうする道路問題

〈整備を推進します〉

